

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	鋼構造環境小委員会		主 査 名：兼光知巳 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：井戸田秀樹
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造における環境負荷削減のための方策として、建物の長寿命化、部材のリデュース・リユース・リサイクルなどの調査、研究を行う。</p> <p>初年度：『鋼構造環境配慮設計指針(案) 一部材リユース』の出版と講習会開催 2年度：環境負荷削減に寄与する次世代の要素技術の調査・研究の実施 3年度：環境負荷削減に寄与する次世代の要素技術についてのまとめ 4年度：大会PDの企画・開催および出版（次世代の要素技術）の準備</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	<p>主査：兼光知巳(清水建設) 幹事：岡崎太一郎(北海道大学) 委員：石原 直(建築研究所) 井上茂樹(ヒロセ) 岩田 衛(神奈川大学) 木村 麗(建材試験センター) 小岩和彦(三菱地所設計) 瀧 正哉(鹿島建設) 長尾直治(耐震総合安全機構) 藤田哲也(日本設計) 藤田正則(山口大学) 松元建三(積水化学工業) 緑川光正(建築研究所) 和田昌敏(日鐵住金建材)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2018年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：東京五輪を契機に鋼構造環境配慮設計をどのように次世代に引き継ぐか 参加者数 141名 『構造部門(鋼構造)パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 環境負荷削減に寄与する次世代の要素技術に関して大会 PD を開催し、環境配慮設計の必要性のアピールと今後の課題について議論した。 2. 『鋼構造環境配慮設計指針(案) 一部材リユース』の改定に向けた準備に着手した。
委員会活動の問題点・課題	1. 『鋼構造環境配慮設計指針(案) 一部材リユース』の改定を目的に、2019年度から新規小委員会を立ち上げる。